

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	安全美化条例に基づく生活環境の改善					款 06	項 01	目 01	事業 005	整理番号	416
現担当課名	環境課					係名	生活環境担当			連絡先	3706
上位施策No・施策名	10	快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現					電話番号	昨年度 整理番号			425
事業開始	昭和54年度	実行計画事業	分野	03	施策	10	計画事業	03		予算事業区分	既定事業
令和6年度 担当課名	環境課					事業評価区分	一般				

令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例空家等対策の推進に関する特別措置法 杉並区生活安全及び環境美化に関する条例施行規則空家等対策の推進に関する特別措置法施行規則
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）

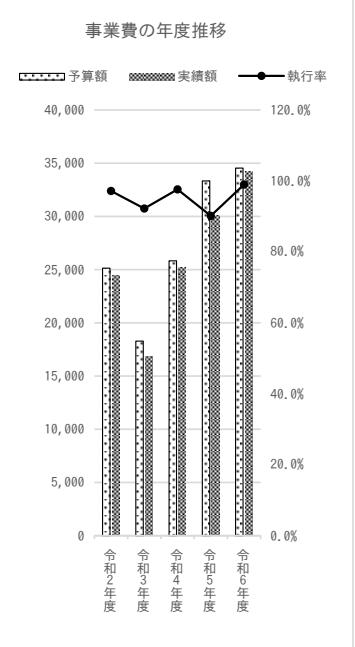
○路上禁煙地区での喫煙行為、区内全域での歩きたばこ・吸い殻のポイ捨てをなくすことを目指す。
 ○区内の公共の場などを清掃し区内全域をきれいな状態にする。
 ○管理不良な空家、ごみ屋敷などをなくし、良好で快適な生活環境を維持する。

○路上喫煙防止パトロールは、指導実績を踏まえ、業務委託による体制を中心により効果的・効率的に行うとともに、違反者への過料徴収は、必要に応じて実施できる体制を確保する。
 ○区内の公園や道路を自発的に清掃する区民や事業者を支援する。
 ○管理不良な空家、ごみ屋敷などの所有者に対して適正な管理を指導する。

指標・総事業費 (P l a n · D o)

	指標名	指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	路上喫煙防止指導件数		件	計画	500	500	400
				実績	705	498	418
				達成率	141.0%	99.6%	104.5%
成果指標	地域清掃活動参加団体数		団体	計画	100	100	100
				実績	64	44	50
				達成率	64.0%	44.0%	50.0%
成果指標	定点観測（中杉通り、高南通り）による吸い殻のポイ捨て本数	調査1回当たりの平均値	本	計画	18	18	18
				実績	20	31	36
				達成率	111.1%	172.2%	200.0%
分類	社会成果（課題）指標		人	計画	18,000	18,000	10,000
	地域清掃活動参加人数			実績	15,013	6,150	6,294
				達成率	83.4%	34.2%	62.9%

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	25,138	18,282	25,825	33,331	34,541
		実績額	24,427	16,860	25,210	30,049	34,191
		執行率	97.2%	92.2%	97.6%	90.2%	99.0%
人件費	千円	予算額	21,795	21,258	20,858	20,795	19,564
		実績額	21,683	23,110	22,625	19,564	24,570
		執行率	99.5%	108.7%	108.5%	94.1%	125.6%
上記以外の職員	千円	予算額	10,780	12,698	12,863	12,873	13,325
		実績額	12,698	12,863	12,873	13,325	16,251
		執行率	117.8%	101.3%	100.1%	103.5%	122.0%
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	57,713	52,238	59,546	66,999	67,430
		実績額	58,808	52,833	60,708	62,938	75,012
		執行率	101.9%	101.1%	102.0%	93.9%	111.2%
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0
		国・都からの補助金 ②	0	0	0	0	0
		その他の補助金等 ③	0	0	0	0	0
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0
		執行率	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	57,713	52,238	59,546	66,999	67,430
		実績額	58,808	52,833	60,708	62,938	75,012
		執行率	101.9%	101.1%	102.0%	93.9%	111.2%



特記事項

令和7年度は、これまでたばこの煙の漏洩やはみだし喫煙など、課題があった荻窪駅南口公衆喫煙場所をパーテーション構造から分煙を強化したコンテナ型喫煙場所へ改修するため、事業費の予算額が増加しました。
 地域清掃活動参加人数は、団体の規模により増減の影響を受けやすく、令和4年度は、小学校などの大規模な参加があったため、例年よりも実績値が高くなりました。

主な取組	内 容	規 模	単 位	事 業 費 (千円)
	環境美化巡回指導業務委託	20	人	3,629
	路面標示補修委託等	215	枚	4,435
	安全パトロール（路上喫煙）委託	11	人	4,468
	公衆喫煙場所清掃業務請負	6	所	12,005
	その他（啓発用パンフレット・表示物の購入ほか）			9,654

取組成果	<p>路上喫煙対策では、警備会社において、2名の指導員が通勤時間帯の6時30分から9時30分の間、区内全域の巡回指導（年末年始及び日曜除く）を行いました。また、環境美化巡回指導では、2名1組で通勤時間帯の7時30分から9時30分の間、路上禁煙地区（6所）とその周辺について、週3回程度の巡回指導を継続的に実施する等、喫煙ルールの普及・啓発に取り組みました。受動喫煙に関する苦情が寄せられている荻窪駅南口公衆喫煙場所については、既存喫煙場所の改修工事を行い、はみ出し喫煙の改善を図りました。</p> <p>地域清掃活動は、公式ホームページやポスター掲示等を使って、参加を呼びかけたところ、参加者団体数及び参加人数が前年度と同程度となりました。また、ごみ屋敷、樹木繁茂の事案は、所有者に対し、解決に向けた適切な指導等に努め改善を図りました。</p>
------	--

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	<p>喫煙を取り巻く社会環境の変化のほか、外部評価を踏まえた啓発活動や路上喫煙防止指導に努めた結果、美化条例施行時に比べ、歩きたばこや吸い殻のポイ捨ては大幅に減少しており、喫煙ルールの区民への浸透は進んでいるものと判断しています。一方、喫煙に伴う副流煙や臭い等の望まない受動喫煙に対し改善を求める苦情は増加傾向にあります。今後も、喫煙者に対して周囲への配慮を求めるとともに警備会社等と密に連携し、巡回パトロールを継続して行うほか、喫煙ルールの普及・啓発に力を入れ、喫煙者・非喫煙者双方にとって暮らしやすい生活環境を確保する必要があります。</p> <p>区内の道路や公園など公共の場所を自発的に清掃する区民等を増やすことが地域の環境美化の促進につながるため継続的に地域清掃活動を支援していきます。</p> <p>また、少子高齢化や核家族化の影響により、管理が行き届かない住居等が増加する傾向にあり、今後もこの傾向は続くことが予想されます。所有者の高齢化や課題が複合的で改善に至らない事例が多くあります。粘り強く交渉を重ね、関連部署との連携を強化し、解決に向けた助言・指導などを積極的に行っていきます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	<p>喫煙マナーの普及・啓発に関しては、路上喫煙防止指導員を増員し、朝の通勤時間帯のほか、定期的に夜間の時間帯に路上禁煙地区を中心として重点的に巡回指導等を行い、喫煙ルールの普及・啓発活動を強化しました。加えて路面標示の補修や各種イベントでの啓発活動に継続して取り組んでいきます。</p> <p>また、管理不適正な空家、空き地等については、区民から日々寄せられる相談などに対し、速やかな現地確認と所有者等との対話を心がけ、関連する部署と引き続き連携を図りながら、所有者等に対して継続的に指導・助言等を行なながら改善を図っていきます。</p> <p>さらに受動喫煙対策を強化するため、荻窪駅南口公衆喫煙場所をパーティション型の構造から煙の漏れないコンテナ型に改修します。</p>
事業の方向性・改善策	<p>喫煙対策は、これまで継続的に行ってきた普及・啓発や、巡回指導などにより、喫煙マナーが浸透しつつありますが、マナー違反者も一定数いることから路上喫煙防止指導員を増員し、これまで以上に指導の場所、時間帯等、柔軟かつ機動的に対応して指導体制の強化を図っていきます。</p> <p>また、昨今の健康志向の高まりから、屋外での望まない受動喫煙を訴える声が増加しています。今後は、マナー面だけでは解決できない、煙や臭いの課題について、煙が漏れ出ない完全分煙型の喫煙場所の整備やパーティション型の改良を検討するなど、一層の受動喫煙対策強化が必要と考えています。また、今後、空家の増加に伴って、管理不適正な空家、空き地等の増加も考えられます。引き続き関係部署と連携した粘り強い取組を行っていきます。</p>

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	吸い殻のポイ捨てや受動喫煙などに関する苦情・要望は、依然、多く寄せられていることから、現在のパーティションの構造を高くすることや、民間公衆喫煙場所設置助成制度の見直しなどを視野に、様々な対策を検討していきます。また、改めて、啓発の拡大や指導を強化し、喫煙者・非喫煙者双方にとって暮らしやすい生活環境の実現に向け、取り組んでいきます。
II. 事業の改善の方向性	
II. 事業の改善の方向性の理由	

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	カラス・ねずみ・蜂類の駆除相談					款 06	項 01	目 01	事業 006	整理番号	417
現担当課名	環境課					係名	生活環境担当			連絡先	3706
上位施策No・施策名	10	快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現					電話番号	昨年度 整理番号			426
事業開始	昭和40年度		分野	03	施策	10	計画事業	予算事業区分			
令和6年度 担当課名	環境課					事業評価区分	一般				

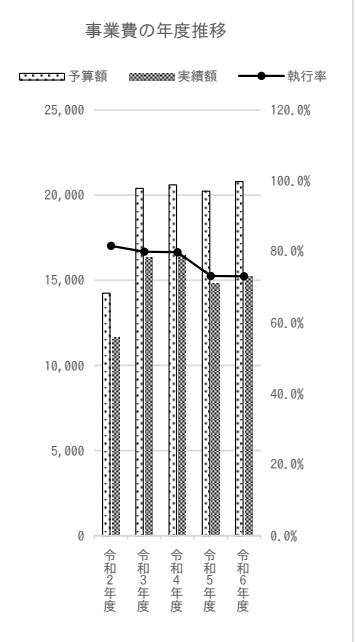
令和6年度 事務事業の概要 (Plan)

対象	根拠法令等
区民、事業者	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律 杉並区ねずみ・昆虫・有害鳥獣等防除実施要綱
事業の目的・目標 (対象をどのような状態にしたいのか)	事業内容 (事務事業の内容、やり方、手段)
○繁殖期のカラスの巣（卵、ヒナ）や人命に係わるスズメバチの巣は、迅速に対応（撤去など）し、区民の安心・安全を確保する。	○繁殖期に人へ危害を加えるカラスの巣の撤去及びヒナの捕獲、卵の回収を行う。 ○活動期のスズメバチの巣を撤去する。 ○ハクビシンなどの有害鳥獣を捕獲する箱わなの設置・処分を行う。 ○ねずみ・昆虫などの駆除方法の助言等を行う。 ○水害時に直接又は委託により消毒作業を行う。

指標、総事業費 (Plan · Do)

指標名		指標説明		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	カラスに関する相談件数			件	計画	150	150	100	100
					実績	137	84	100	-
					達成率	91.3%	56.0%	100.0%	-
成果指標	蜂に関する相談件数			件	計画	900	900	800	800
					実績	934	792	759	-
					達成率	103.8%	88.0%	94.9%	-
分類 社会成果（課題）指標	カラスの巣の撤去・落下ヒナの捕獲件数	繁殖期のカラスの巣の撤去数・落下ヒナの捕獲件数		件	計画	70	50	30	30
					実績	39	18	17	-
					達成率	55.7%	36.0%	56.7%	-
分類 社会成果（課題）指標	蜂の巣の駆除件数	スズメバチの巣の撤去件数		件	計画	360	360	300	300
					実績	381	246	354	-
					達成率	105.8%	68.3%	118.0%	-

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	14,239	20,396	20,601	20,234	20,796	18,528
		実績額	11,631	16,327	16,459	14,813	15,207	-
		執行率	81.7%	80.1%	79.9%	73.2%	73.1%	-
人件費	千円	予算額	4,359	4,252	4,172	4,159	4,061	4,535
		実績額	4,337	4,589	4,492	4,061	4,976	-
		執行率	99.5%	107.9%	107.7%	97.6%	122.5%	-
上記以外の職員	千円	予算額	1,540	1,814	1,838	1,839	1,904	2,322
		実績額	1,814	1,838	1,839	1,904	2,322	-
		執行率	117.8%	101.3%	100.1%	103.5%	122.0%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	20,138	26,462	26,611	26,232	26,761	25,385
		実績額	17,782	22,754	22,790	20,778	22,505	-
		執行率	88.3%	86.0%	85.6%	79.2%	84.1%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	0
		国・都からの補助金 ②	0	0	0	0	0	0
		その他の補助金等 ③	0	0	0	0	0	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	20,138	26,462	26,611	26,232	26,761	25,385
		実績額	17,782	22,754	22,790	20,778	22,505	-
		執行率	88.3%	86.0%	85.6%	79.2%	84.1%	-



特記事項

有害鳥獣の捕獲数は、予測が難しく、結果、カラスの巣の撤去、スズメバチの巣の撤去及びハクビシン等捕獲作業の実績が見込み数に達しなかつたことにより執行残が生じました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	カラスの巣の撤去、落下幼鳥等捕獲作業委託	17	件	823
	ハクビシン等の有害鳥獣捕獲檻設置、捕獲個体回収処分委託	318	件	5,584
	スズメバチの巣等撤去作業委託	354	件	8,371
	その他（ 産業廃棄物（薬品）処理委託、噴霧機器修繕、殺虫剤等の購入 ）	429		

取組成果	繁殖期のカラスの巣の撤去、特定外来生物であるアライグマや外来生物であるハクビシンの捕獲のための箱わなの設置、スズメバチの巣の捕獲等、区民の生活環境の保全や生態系等に係る被害の防止・軽減を取りました。なお、カラス、蜂に関する相談及び巣の撤去数は大きく変化していませんが、外来生物であるハクビシン等の捕獲数は減少しました。また、区民等が行う衛生害虫等の自主防除を支援するため、駆除方法の助言や防除機具の貸出し等に取り組みました。
------	--

課題の分析、方向性・改善策 (C h e c k • A c t i o n)

課題の分析	ハクビシンやハチ等が民有地に巣を作ることなどにより人に危害を加えるおそれがある場合に、巣の撤去や箱わなを設置し捕獲・除去等を行っています。自然界にいる動物等が対象のため、生息数の増減等の予測が難しく、また、区民が管理している民有地の樹木などを適切に管理・剪定することで巣を作られにくくすることができますが、すべてを防ぐことは困難です。そのため、区民からの巣の撤去や駆除等の要望に対し、委託事業者と連携し、迅速かつ適切に駆除・捕獲を行い、被害の拡大を抑制することで、区民の安全・安心を確保していく必要があります。 ねずみ、蚊などの衛生害虫の発生は、生活環境における衛生上の安全と安心の確保に影響を与えます。害虫は発生の抑制を図ることが被害防止に繋がるため、発生抑制方法などの周知が必要です。また、衛生害虫等の防除方法について適切な助言を行うことや、防除機具の貸し出しを行うなど、区民の自主的な防除の支援が求められます。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	繁殖期のカラスの巣の撤去や特定外来生物であるアライグマ、ハクビシン等の捕獲のための箱わな設置・捕獲、スズメバチの巣の撤去等を実施し、区民の生活環境の保全や生態系等に係る被害の防止・軽減に取り組みました。今後も委託事業者と緊密に連携しながら取り組んでいきます。
事業の方向性・改善策	カラスやスズメバチの巣の撤去依頼は、毎年度、一定数あることから、引き続き要望等の把握に努め、個別ケースに応じて柔軟に対応していきます。有害鳥獣等の対策については、前年度よりアライグマやハクビシンの相談件数、捕獲数ともに減少していますが、引き続き区部にも一定数が生息していると推定されます。区内での目撃情報が多く寄せられていることから、区民等からの捕獲依頼に対し、迅速に対応していきます。なお、外来種の取り扱いは、新たな情報等をホームページで積極的に発信していきます。

令和8年度の方針 (A c t i o n)

I . 事業コストの方向性	現状維持
I . 事業コストの方向性の理由	カラスやスズメバチの巣の撤去、アライグマ・ハクビシン等捕獲への対応については、引き続き、委託事業者と連携し、迅速かつ適切に対応し、区民サービスの向上を図ります。 区が撤去の対象としていないアシナガバチの巣の撤去や蚊などの衛生害虫等は、発生を抑制することが被害防止の有効な手段であることから自主防除について分かりやすく丁寧な説明をしていきます。
II . 事業の改善の方向性	
II . 事業の改善の方向性の理由	

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	ワンウェイプラスチック使用削減に向けた取組の推進					款 06	項 01	目 01	事業 009	整理番号	419
現担当課名	環境課					係名 溫暖化対策係	連絡先 電話番号	3732	昨年度 整理番号		
上位施策No・施策名	10	快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現					予算事業区分		既定事業		
事業開始	令和6年度	実行計画事業	分野 03	施策 10	計画事業 02		主要事業（区政経営報告書掲載事業）				
令和6年度 担当課名							事業評価区分		一般		

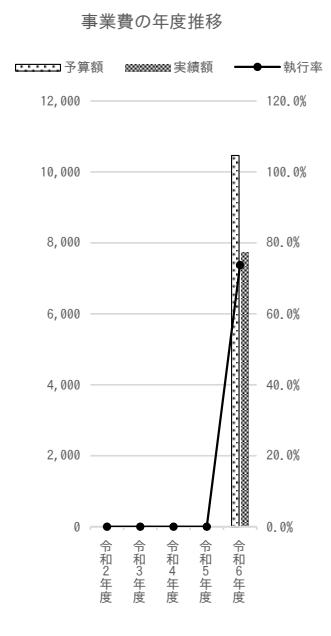
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
区民、団体、事業者	杉並区リユース容器活用支援助成金交付要綱 杉並区リユース容器貸出事業実施要綱
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○区・区民・事業者が協力連携し、ワンウェイプラスチックを削減します。	○区立施設へ給水機を設置し、マイボトルの普及啓発を図る。 ○区内イベントでリユース容器を貸し出すことや、テイクアウトの食品を販売している事業者等に対して、リユース容器の活用に必要な経費の一部を助成することで、ワンウェイプラスチック削減の機運を高める。 ○マイバッグ推進連絡会を開催し、区内学校や団体と連携しながらイベント等でのワンウェイプラスチック削減に向けた啓発活動を行う。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

指標名		指標説明		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	ペットボトル（500ml）削減量	給水機の使用量から、ペットボトル（500ml）の削減量を算出しています。	本	計画	-	-	207,000	303,000
				実績	-	-	191,550	-
				達成率	-	-	92.5%	-
成果指標	リユース容器貸出イベント数		回	計画	-	-	10	40
				実績	-	-	34	-
				達成率	-	-	340.0%	-
分類 行政サービス成果指標	二酸化炭素削減量	ペットボトル（500ml）削減量から換算した二酸化炭素削減量	kg-CO ₂	計画	-	-	6,831	9,999
				実績	-	-	6321.1	-
				達成率	-	-	92.5%	-
分類 行政サービス成果指標	温室効果ガス排出削減量	リユース容器の利用数から換算した温室効果ガス排出削減量	kg-CO _{2eq}	計画	-	-	185	740
				実績	-	-	632	-
				達成率	-	-	341.6%	-

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	-	-	-	10,463	9,361	
		実績額	-	-	-	7,719	-	
		執行率	-	-	-	73.8%	-	
人件費	千円	予算額	-	-	-	-	17,112	
		実績額	-	-	-	-	10,244	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
上記以外の職員	千円	予算額	-	-	-	-	1,393	
		実績額	-	-	-	-	929	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	-	-	-	10,463	27,866	
		実績額	-	-	-	7,719	18,892	-
		執行率	-	-	-	73.8%	180.6%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	-	-	-	-	-	-
		国・都からの補助金 ②	-	-	-	-	-	-
		その他の補助金等 ③	-	-	-	-	2,495	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	-	-	-	-	2,334	-
		実績額	-	-	-	-	-	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	-	-	-	-	10,463	25,371
		実績額	-	-	-	-	16,558	-
		執行率	-	-	-	-	158.3%	-



特記事項

令和6年度から新しく創設された事務事業のため、活動指標と成果指標は6年度からの記載となっています。
 成果指標（2）は、リユース容器を50回使用した場合の1回あたりの温室効果ガス排出量と、PSPトレイを一般廃棄物として廃棄する場合の温室効果ガス排出量との比較。なお、貸し出しリユース容器のうち、カップは二酸化炭素削減量を温室効果ガス排出削減量とみなして算出しています。
 リユース容器貸出事業の貸出件数は想定を上回りましたが、利用容器数が下回ったことと、リユース容器活用支援助成金の助成件数が想定を下回ったことにより、令和6年度の執行率は73.8%にとどまっています。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	給水機賃借料	15	台	596
	リユース容器保管運用業務委託			4,060
	リユース容器購入			1,621
	リユース容器活用支援助成	2	件	629
	その他 (啓発物品の購入等)			813

取組成果	区立施設に新たにボトル対応型給水機を5台（うち1台は冷水機能付きで本庁舎）設置し、設置台数は合計15台となり、マイボトル普及に向けた環境整備に取り組みました。リユース容器貸出事業は、当初目標の10イベントを大きく上回る34イベントで活用され、プラスチック容器を15,610個削減しました。また、リユース容器活用支援助成では2事業者が活用したこと、プラスチック容器を4,156個削減しました。なお、貸出事業においては、リユース容器の返却場所の案内や、返却を促すPOPの作成により、リユース容器の返却率が向上しました。
------	---

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	リユース容器の活用によりワンウェイプラスチック使用削減を推進するためには、具体的な取組効果としてCO ₂ 削減への寄与が区民に伝わることが必要であり、周知方法を工夫していきます。また、使用後の容器を確實に返却してもらえるように、イベント参加者へ呼びかけるためのPOPや看板を利用者に貸し出すなど、返却率の向上と紛失率の削減に向けた働きかけを引き続き行っていきます。 給水機については、設置施設により使用量に差がある状況であり、目立つようにポスターやステッカーを貼付する等、活用の促進に努めるとともに、使用量については区ホームページで公表していきます。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	リユース容器貸出事業については、より利用しやすい制度となるように、2か月前までの事前相談を不要とし、貸出希望日の1か月前までの申請へと手続方法を簡略化するとともに、貸出品目におわんを追加しました。また、飲食物の提供者だけではなく、リユース容器の利用者にも事業効果が伝わるように、瓶の側面にCO ₂ 削減量を示したシールを作成し、すぎなみフェスタから利用していく見込みです。リユース容器活用支援助成については、「一件の交付決定を行いました。今後、更に周知を行い、区内事業者のリユース容器利用率向上を目指していきます。 給水機については、涼み処となっている区立施設を中心に41台（うち当課予算での設置5台）を増設しました。給水機設置施設であることがわかるように、施設掲示用ポスターを作成するとともに、マイボトルの普及促進を目的にステッカーを作成し、給水機の活用促進に努めました。
事業の方向性・改善策	ワンウェイプラスチック削減を推進するため、リユース容器貸出事業及びリユース容器活用支援助成の利用拡大を目指します。「すぎなみフェスタ」や「すぎなみ舞祭」等の区イベントにおいて、リユース容器を積極的に活用することで、区民や区内事業者等への啓発を図ります。 給水機の活用については、各施設ごとの使用量を区ホームページ等で公表していきながら、引き続き活用促進の方法を検討していきます。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	拡充
I. 事業コストの方向性の理由	リユース容器貸出事業は、想定を上回る申請があるため、申請状況を踏まえ、年度を通じて申請を受け付けることができるよう、適正な予算規模を検討します。 給水機の活用については、更なる増設を予定しています。今後も各所管との調整を行いながら、設置場所を選定していきます。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	リユース容器貸出事業及びリユース容器活用支援助成について、引き続き事業の周知・啓発を図り、申請数の増を目指します。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	公害等防止					款 06	項 01	目 02	事業 001	整理番号	421
現担当課名	環境課					係名	公害対策係			連絡先	3713
上位施策No・施策名	10	快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現					電話番号	昨年度 整理番号			429
事業開始	昭和46年度	実行計画事業		分野	03	施策	10	計画事業	03	予算事業区分	既定事業
令和6年度 担当課名	環境課					事業評価区分	一般				

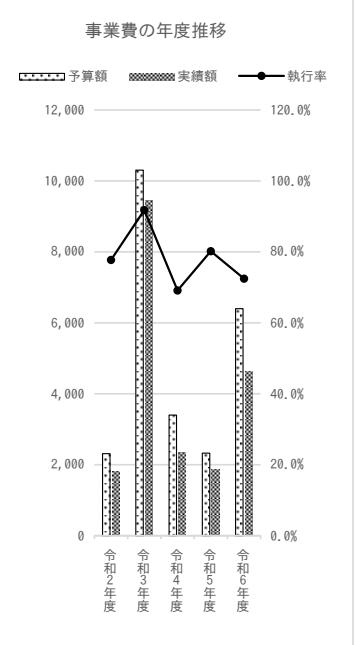
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 都民の健康と安全を確保する環境に関する条例（環境確保条例） 公害紛争処理法
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） ○工場、建設解体工事、店舗、住宅等の公害の発生源に対し、法令等に基づき規制・指導を行う。 ○事業者に対し、アスベスト、土壌汚染、地下水汚染、化学物質の適正使用等を指導する。 ○公害に関する苦情・相談に対応する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	立入調査指導数	工場・指定作業場、苦情相談等の現場立入調査数及び指示数の合計	件	計画 実績 達成率	350 518 148.0%	400 629 157.3%	500 812 162.4%	-
成果指標	公害苦情相談対応件数	苦情・相談の受理件数	件	計画 実績 達成率	200 214 107.0%	200 213 106.5%	200 285 142.5%	250
	苦情完結率	苦情完結件数÷苦情件数（当該年度受理数と前年度以前受理未了結数の合計）	%	計画 実績 達成率	75 53 70.7%	75 47 62.7%	75 40 53.3%	-
	分類 社会成果（課題）指標			計画 実績 達成率	- - -	- - -	- - -	-
	分類			計画 実績 達成率	- - -	- - -	- - -	-

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	千円	予算額 実績額 執行率	2,312 1,797 77.7%	10,304 9,456 91.8%	3,400 2,350 69.1%	2,327 1,866 80.2%	6,399 4,636 72.4%	5,126 - -
事業費	千円	予算額 実績額 執行率	24,183 25,643 106.0%	26,166 27,070 103.5%	29,990 31,682 105.6%	33,272 35,660 107.2%	33,484 37,133 110.9%	36,779 - -
人件費	常勤職員分 (再任用含)	予算額 実績額 執行率	0 24,183 106.0%	0 26,166 103.5%	0 29,990 105.6%	0 33,272 107.2%	0 33,484 110.9%	0 36,779 -
	上記以外の職員	予算額 実績額 執行率	0 0 - 0.0%	1,814 0 - 0.0%	0 0 - 0.0%	0 0 - 0.0%	0 4,643 - 0	0 - - -
総事業費	千円 (事業費+人件費)	予算額 実績額 執行率	26,495 27,440 103.6%	38,284 36,526 95.4%	33,390 34,032 101.9%	35,599 37,526 105.4%	39,883 46,412 116.4%	41,905 - -
財源	受益者負担分 ①	予算額 実績額 執行率	48 17 35.4%	48 42 87.5%	48 9 18.8%	0 0 -	0 0 -	0 - -
	国・都からの補助金 ②	予算額 実績額 執行率	0 47,851 - -	0 54,687 - -	0 60,037 - -	0 64,255 - -	0 66,917 - -	0 - -
	その他の補助金等 ③	予算額 実績額 執行率	0 0 - -	0 0 - -	0 0 - -	0 0 - -	0 0 - -	0 - -
	特定財源 (①+②+③)	予算額 実績額 執行率	48 47,868 99725.0%	48 54,729 114018.8%	48 60,046 125095.8%	0 64,255 - -	0 66,917 - -	0 - -
	差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	予算額 実績額 執行率	26,447 -20,428 -77.2%	38,236 -18,203 -47.6%	33,342 -26,014 -78.0%	35,599 -26,729 -75.1%	39,883 -20,505 -51.4%	41,905 - -



特記事項

- 事業費：令和6年度より、新規事業である「熱中症対策」予算が「光化学スモッグ注意報等の周知に関する業務」についたため、事業予算増となりました。一方、令和6年度より開始したアスベスト分析調査費補助事業の申請件数が想定を大幅に下回ったこと、さらに同じく6年度より開始した熱中症特別警戒情報事業費残により、執行率が低下しました。
- 活動指標（1）：令和4年度石綿システム導入に伴い強化した解体等工事現場への立入調査が増えたこと、また苦情件数が増加した結果、立入調査指導数が増加しました。
- 成果指標（1）：例年よりも困難事例が多く継続指導が必要になる事例が増加し、相対的に完結件数が減少したため、苦情完結率が低下しました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費（千円）
	公害監視、調査、指導	2,063	件	397
	公害苦情、相談への対応	285	件	867
	光化学スモッグ注意報等の周知	12	回	2,342
	アスベスト対策	2	所	801
	その他（公害防止意識の啓発等）			229

取組成果	都環境確保条例に基づく工場認可をはじめ、特定建設作業等の各種届出を受理し、公害発生の未然防止に努めました。石綿飛散防止対策では、現場への事前立入調査（17件）や建築部局との合同パトロール（3回）、解体等工事現場への立入調査（253件）を実施しました。区民等から建築物等の解体等工事による騒音・振動等計285件の苦情相談を受け、現場調査や指導助言等を行い、問題解決に取り組みました。また、光化学スモッグの注意報発令時には、防災無線、学校・保育園等へのFAX送付、懸垂幕の掲出等による周知を行い、健康被害の発生防止に努めました。
------	--

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	建築物等の解体等工事については、工事に伴う騒音等による苦情が頻繁に発生し、区は迅速な対応が求められます。そのため区は、平成17年に策定した要綱に基づいた解体等工事届出制度を事業者に周知し、事前の届出を促すことが必要です。なお令和6年度は、1,069件の届出を受理し、一定の効果を上げています。区民からの苦情・相談では、建設解体工事に伴う騒音・振動に関する内容が最も多く、その他飲食店等の臭気、近隣の生活騒音等に関する苦情・相談も増加傾向にあります。なお、苦情・相談285件中112件は騒音に関する苦情相談でした。成果指標である苦情完結率は40%と令和5年度実績を下回りましたが、これは継続指導が必要になる事例が増加したことによるものです。短期間で苦情の解決に至るのが困難なケースが多くみられます。大気汚染防止法改正により一層強化されたアスベスト対策では、環境省の石綿システムと区要綱の届出制度を活用し、立入現場を抽出し指導を実施するなど、引き続きアスベストの飛散防止対策の徹底が必要です。令和6年度は石綿システムで4,740件の報告を受理し、253件の解体等現場に立入調査を行いました。また、解体等工事の際、建材に含まれるアスベストの有無について、令和5年10月より有資格者による事前調査が義務付けられたことから、区内建築物所有者の負担軽減を図るとともに、適正な事前調査及びアスベスト除去工事促進のため、令和6年度より杉並区アスベスト分析調査費補助金制度を創設しました。補助金申請の相談は延べ63件受けましたが、交付は1件でした。申請に必要な建築確認関係の書類を用意できないケースが多かったことが原因の一つと考えられました。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	アスベスト対策については、今年度も引き続き石綿システムと区要綱の届出制度を活用し、解体等工事現場への立入調査を行っています。今年度は7月末までに石綿システムで1,589件の報告を受理し、163件の立入調査を行いました。令和6年度から開始したアスベスト分析調査費補助金交付事業については、6年度末に要綱を改正し、申請書類の一部を不要とすることで申請を促したことにより、8月末時点では20数件の申請の相談を受け、3件の申請を受理しました。
事業の方向性・改善策	アスベスト事前調査制度及びアスベスト分析調査費補助事業について、業界団体等への情報提供に加え、窓口での解体工事届出の際や解体現場立入時等、あらゆる機会をとらえ周知に努めています。光化学スモッグ対策については、注意報発令等都環境局からの通知方法が、数年以内に現状のFAXからメールへ変更される予定のため、関係各課、機関と協議を進め、メール通知への移行が円滑に行われるよう準備を行っていきます。

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	令和2年に大気汚染防止法が改正されたことによる解体工事の届出制度の改正等について、引き続き事前相談や立入調査などの機会をとらえて事業者に周知を図るとともに、監視指導を継続して行っています。令和5年10月からは建築物について、令和8年1月からは工作物について、解体等工事の際に行われるアスベスト含有建材事前調査はアスベスト関連資格保有者により行うことが義務付けられます。よって、都補助金を活用しながら、解体等工事立入調査を行う職員の資格取得を促しています。令和6年度から開始したアスベスト分析調査費補助事業は、引き続き周知活動を強化するとともに、制度の見直しについても検討して取り組んでいきます。騒音計等の環境測定機器類については、導入後10年以上経過したものが多く、入替等を計画的に検討していきます。
II. 事業の改善の方向性	
II. 事業の改善の方向性の理由	

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	大気や河川水質などの環境実態調査					款 06	項 01	目 02	事業 002	整理番号	422
現担当課名	環境課					係名 公害対策係	連絡先	3713	昨年度 整理番号	430	
上位施策No・施策名	10	快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現					予算事業区分		既定事業		
事業開始	昭和46年度		分野	03	施策	10	計画事業				
令和6年度 担当課名	環境課					事業評価区分		一般			

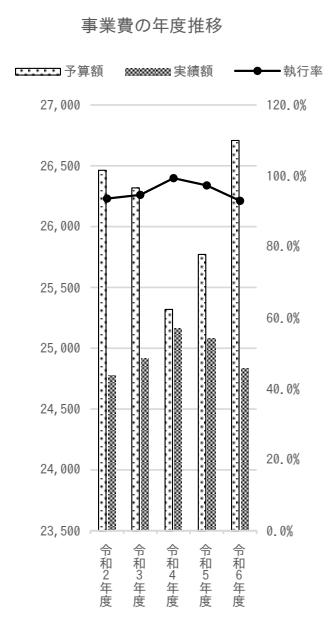
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 大気汚染防止法水質汚濁防止法 騒音規制法振動規制法
区民、行政（国、東京都、杉並区）	
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） ○自動車等に起因する大気汚染や交通騒音、河川の水質汚濁を防ぎ、公害から区民の健康・生活を守る。 ○大気中の窒素酸化物、硫黄酸化物、光化学オキシダント等を測定し、大気汚染状況を調査する。 ○道路（環状7号線、環状8号線、青梅街道等）の交通騒音を測定する。 ○河川（神田川、善福寺川、妙正寺川）の水質、河川・大気のダイオキシン類の調査を実施する。 ○空間放射線量率を測定する。 ○調査結果を区民、道路管理者（国、東京都、杉並区）等に提供する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度				令和5年度			
				計画	実績	達成率	計画	実績	達成率	計画	実績
延べ調査地点数	大気汚染、自動車騒音・振動、河川水質等の調査地点合計	地點	計画	139	139	139	138				
		実績	139	139	138	-					
		達成率	100.0%	100.0%	99.3%	-					
道路交通騒音環境基準達成率	区内道路交通騒音測定箇所（24地点：昼間）における環境基準達成率	%	計画	100	100	100	100				
分類 社会成果（課題）指標		実績	79.2	79.2	79.2	-					
騒音や排気ガスが少ないと思う人の割合	区民意向調査による	%	達成率	79.2%	79.2%	79.2%	-				
分類 区民満足度指標		計画	70	70	75	75					
		実績	69.2	70.3	72	-					
		達成率	98.9%	100.4%	96.0%	-					

	単位	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
		予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額	予算額	実績額
事業費	千円	26,463	26,318	25,319	25,771	26,708	26,177						
		実績額	24,773	24,912	25,159	25,081	24,833	-					
		執行率	93.6%	94.7%	99.4%	97.3%	93.0%	-					
人件費	常勤職員分（再任用含）	千円	予算額	24,183	26,166	29,990	38,253	30,236	36,779				
		実績額	24,368	25,819	27,190	30,236	30,778	-					
	上記以外の職員	千円	予算額	100.8%	98.7%	90.7%	79.0%	101.8%	-				
総事業費	（事業費+人件費）	千円	予算額	0	1,814	0	0	0	0	0	0	0	-
		実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	0.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	-
財源	受益者負担分	千円	予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	①		実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	国・都からの補助金	千円	予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	②		実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	その他の補助金等	千円	予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	③		実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	特定財源	千円	予算額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	(①+②+③)		実績額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	-
	差引：一般財源	千円	予算額	50,646	54,298	55,309	64,024	56,944	62,956				
	（総事業費-特定財源）		実績額	49,141	50,731	52,349	55,317	55,611	-				
		執行率	97.0%	93.4%	94.6%	86.4%	97.7%	-					



特記事項

- 活動指標
延べ調査地点数については、令和5年度末で窒素酸化物を測定していた久我山測定局を廃止したため、1減となりました。
- 事業費
委託契約落差金残に加え、令和5年度末で廃止した久我山測定局の撤去工事および測定器撤去費用の残が影響し、執行率低下につながりました。

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	大気汚染常時測定	3	所	15,198
	自動車交通騒音振動測定	24	所	3,369
	自動車排出ガス測定	20	所	3,020
	ダイオキシン類調査	7	所	2,134
	その他 (河川水質調査、空間放射線量率測定)			1,112

取組成果	大気汚染状況把握のため、区内3か所の測定室での常時監視（窒素酸化物、光化学オキシダント等）や主要幹線道路での自動車排出ガスの測定を実施しました。また交通騒音対策では、測定室のほか国道、都道等幹線道路沿いでの自動車騒音・振動及び鉄道騒音の測定を実施しました。河川の水質は神田川流域の6区合同で一齊調査を年4回実施しました。ダイオキシン類は大気及び河川を調査し、空間放射線量率は区内定点3か所にて測定しました。なお、各種調査結果は、区ホームページ、環境白書等により公表しました。継続して大気汚染状況や自動車交通騒音等を測定し、正確な情報を発信することで、区民の暮らしの安全・安心を確保しています。
------	--

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	公害が社会問題化した昭和40年代より大気汚染や自動車騒音・振動の調査を開始し、現在は多くの大気汚染物質が環境基準に適合していますが、光化学スモッグの原因となる光化学オキシダントは環境基準未達成であり、横ばいの状況が続いています。発生要因の一つのVOC（揮発性有機化合物）抑制のため、クリーニング店等、化学物質を使用する事業者に対し、より揮発性の低い化学物質への転換や排出量削減を促すとともに、国や都による広域的な政策と連携した取組が必要となります。 また、道路交通騒音は、低騒音舗装、遮音壁の設置、ハイブリッド車や電気自動車の普及により、比較的低減していますが、夜間は走行スピードも速くなる傾向にあるため、環境基準の適合率が低くなる状況が続いています。引き続き東京都などの道路管理者に対し、測定資料の提供や情報交換を通じ、道路騒音・振動の低減に向けた取組が必要となります。河川の水質は改善されていますが、大雨等の影響により一時的に悪化することがあります。 放射能対策では、東日本大震災後の平成23年より空間放射線量率の測定を開始し、現在も継続していますが、測定開始当初と比較して測定結果はほとんど変化はなく、震災前から測定している都内の測定局の震災前の測定値とほぼ同じ数値で安定しています。放射能対策担当者会を毎年開催し、現状把握及び意見交換を行い、今後の方針について検討を行っています。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	経年実施している大気汚染や自動車騒音等の環境測定各調査項目について、それぞれ確認し、道路管理者への情報提供等、必要な対応を行っています。 放射能対策については、定期的に空間放射線量率を測定するとともに、担当者会を開催し現状確認や今後の方針について意見交換を行いました。
事業の方向性・改善策	経年実施している環境測定各調査に引き続き取り組み、区内の環境の実態把握に努めています。 課題となっている広域の道路整備等国や都の事業との連携や測定機器の更新について、情報収集に努めながら対応を検討していきます。また、有機フッ素化合物については、国や都の動向を注視し、都が行う調査への協力をしながら引き続き情報収集を行っていきます。 周辺地域の大気汚染等環境測定のため、旧富士見丘小学校に設置している富士見丘測定室について、令和8年度に校舎が解体されるため、今後も環境測定継続の必要性から近隣への測定室の移設に向けた準備を行っていきます。 放射能対策については、担当者会での意見交換の結果、空間放射線量率の測定及び給食の放射能検査は来年度も同頻度での継続の予定です。本事業の継続については引き続き検討を行っていきます。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	大気汚染、水質汚濁、騒音・振動などの環境測定は、現行の項目を継続して実施することが重要であり。区内の環境変化、法定事項、交通インフラ計画、区民要望などを踏まえ、調査内容を常に確認し、必要に応じて見直しを図りながら実施していきます。また、有機フッ素化合物については、都の追加調査や国・都の検討会の動向を注視し、引き続き情報収集を行っていきます。 令和8年度の大気汚染等環境調査の実施規模は、大きな環境の変化がない限り7年度と同程度と考えていますが、更新時期を迎えていく測定機器が多く、計画的な入れ替え等を検討していきます。8年度に予定されている旧富士見丘小学校校舎解体に伴い、同校に設置している富士見丘測定室の近隣への移設が円滑に行えるよう十分検討を行い、予算措置を講じていきます。
II. 事業の改善の方向性	
II. 事業の改善の方向性の理由	

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	一般廃棄物処理管理事務					款 06	項 01	目 03	事業 001	整理番号	424
現担当課名	ごみ減量対策課					係名 管理係	連絡先 3723	電話番号	昨年度 432	整理番号	
上位施策No・施策名	10	快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現					予算事業区分		既定事業		
事業開始	平成12年度	実行計画事業	分野 03	施策 10	計画事業 02						
令和6年度 担当課名	ごみ減量対策課					事業評価区分	一般				

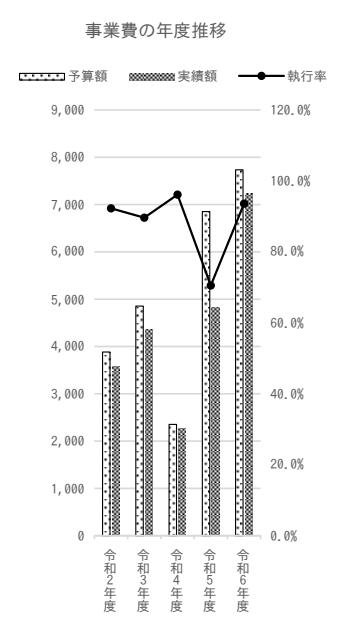
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段） ○廃棄物の分別状態を適正にし、より円滑な廃棄物処理を可能にしていく。 ○一般廃棄物処理基本計画に定めた目標値の達成を目指す。 ○適正な排出処理に向けた基盤づくりを行う。 ○一般廃棄物処理業者への助言、指導を行う。 ○「杉並区一般廃棄物処理基本・実施計画」や「ごみ収集作業計画」を策定する。 ○清掃リサイクル事業の基礎データを収集する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	一般廃棄物処理業者許可（新規・更新件数）		件	113	145	111	147				
				計画	102	142	100	-			
				実績	-	-	-	-			
				達成率	90.3%	97.9%	90.1%	-			
成果指標	事業系一般廃棄物搬入量（持込ごみ量）	指定処理施設（清掃工場等）への事業系一般廃棄物総搬入量（速報値）	t	計画	25,815	26,242	27,363	27,276			
				実績	24,027	24,220	22,466	-			
				達成率	93.1%	92.3%	82.1%	-			
分類	行政サービス成果指標			計画	-	-	-	-			
				実績	-	-	-	-			
	分類			達成率	-	-	-	-			

事業費	単位 千円	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
		予算額	3,883	4,854	2,353	6,852	7,735	4,092
		実績額	3,583	4,351	2,262	4,832	7,239	-
人件費	常勤職員分（再任用含）	執行率	92.3%	89.6%	96.1%	70.5%	93.6%	-
		予算額	18,744	17,563	20,734	22,783	18,416	19,251
		実績額	21,853	18,934	23,132	22,576	19,679	-
上記以外の職員	千円	執行率	116.6%	107.8%	111.6%	99.1%	106.9%	-
		予算額	308	363	368	368	381	464
		実績額	907	551	368	381	464	-
総事業費（事業費+人件費）	千円	執行率	294.5%	151.8%	100.0%	103.5%	121.8%	-
		予算額	22,935	22,780	23,455	30,003	26,532	23,807
		実績額	26,343	23,836	25,762	27,789	27,382	-
財源	受益者負担分①	執行率	114.9%	104.6%	109.8%	92.6%	103.2%	-
		予算額	1,176	1,486	1,146	1,466	1,121	1,886
		実績額	1,085	1,450	1,025	1,420	986	-
国・都からの補助金②	千円	執行率	92.3%	97.6%	89.4%	96.9%	88.0%	-
		予算額	242	0	0	2,312	5,000	0
		実績額	181	0	0	0	3,215	-
その他の補助金等③	千円	執行率	74.8%	-	-	0.0%	64.3%	-
		予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	-
特定財源④	千円	執行率	-	-	-	-	-	-
		予算額	1,418	1,486	1,146	3,778	6,121	1,886
		実績額	1,266	1,450	1,025	1,420	4,201	-
差引：一般財源（総事業費-特定財源）	千円	執行率	89.3%	97.6%	89.4%	37.6%	68.6%	-
		予算額	21,517	21,294	22,309	26,225	20,411	21,921
		実績額	25,077	22,386	24,737	26,369	23,181	-
		執行率	116.5%	105.1%	110.9%	100.5%	113.6%	-



特記事項

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	家庭ごみ排出状況調査			5,371
	廃棄物情報管理システム維持管理			822
	全国都市清掃会議負担金等の支出			388
	その他（需用費等）)		658

取組成果	廃棄物の分別状況の確認やリサイクル事業の基礎資料の収集のため、家庭ごみ排出状況調査を実施しました。また、令和6年10月に開始したプラスチック使用製品廃棄物分別回収について、モデル実施の状況より、令和8年度から区内全域で実施することが可能と判断し、実行計画の改定を行いました。一般廃棄物処理業者に対しては、法令に従って適正に廃棄物処理が行われていることの確認を行うとともに、必要に応じて助言や指導を実施しました。
------	---

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	家庭ごみ排出状況調査を基に、令和6年10月から開始したプラスチック使用製品廃棄物分別回収のモデル実施を検証した結果、当初の予測よりモデル地域におけるプラスチック使用製品廃棄物の排出量が少ないことが判明し、可燃ごみにプラスチック使用製品が混入していること等が理由に挙げられます。令和8年度から実施する区内全域実施に向け、更なるごみ減量を実現するため、分別方法の周知・徹底について、区民に対して積極的に呼びかけていく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	廃棄物情報管理システムの機器更新にあたり、11月以降の設置に向け準備を進めています。また、清掃一部事務組合と連携し、一般廃棄物処理業等許可事業者の許可更新に伴う立入検査を行い、指導等を実施しました。
事業の方向性・改善策	令和8年4月から区内全域で実施するプラスチック使用製品の回収を機に、資源化ができる品目をわかりやすく周知を図ることに留まらず、更なるごみ減量の実現に向け、課題を整理していきます。また、事業系ごみについては、排出者責任に基づき、減量とともに資源化や適正排出に向けた勧奨を継続的に強化していきます。

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	今後も一般廃棄物処理基本計画に基づき、循環型社会の実現に向けて、地球温暖化対策にも資するごみの減量と資源化を推進していきます。 一般廃棄物処理業等許可事務に関しては、東京二十三区清掃協議会による23区共同処理となっていますが、区としては、一般廃棄物処理業者による不適正搬入等の事例が多く発生していることから、関係許可区や清掃一部事務組合と引き続き連携しつつ、当該一般廃棄物処理業者への立入検査や行政指導等を徹底することにより、事業系廃棄物処理の適正分別・排出を推進していきます。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	ごみの減量と資源化の推進					款 06	項 01	目 03	事業 002	整理番号	425
現担当課名	ごみ減量対策課					係名	事業計画係	連絡先	3725	昨年度 整理番号	433
上位施策No・施策名	10	快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現					予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成13年度	実行計画事業	分野	03	施策	10	計画事業	01	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）	
令和6年度 担当課名	ごみ減量対策課					事業評価区分	一般				

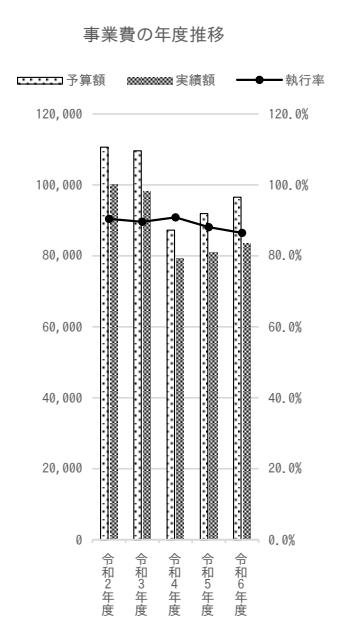
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
区民・事業者・産業団体等	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 循環型社会形成推進基本法
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○啓発活動を通して、区民のごみ減量への意識を高めつつ、ごみの発生抑制や再利用、再生利用の手法により、ごみ減量を実現する。 ○区民、事業者等との協働により普及啓発、生活雑貨などのリユースや集団回収への取組を進め、ごみの発生抑制とリサイクルの意識を高める。	○ごみの減量を推進するため、「ごみと資源の分け方・出し方 収集力レンダー」など各種啓発物の発行や小学校等への環境学習により啓発活動を行う。 ○資源の集団回収団体に対し報奨金・支援物品を支給する。 ○資源化を推進するため、廃食用油、小型家電15品目等を拠点回収し、希少金属等を再資源化業者に引き渡す。 ○生ごみの減量のため、家庭用生ごみ処理機購入費の助成をする。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	啓発物（パンフレット、冊子）延べ配布部数	食べのこし0（ゼロ）応援店ポスター・チラシ等配布数	枚	計画	150	150	150	100
				実績	190	127	97	-
				達成率	126.7%	84.7%	64.7%	-
				計画	-	-	-	-
				実績	-	-	-	-
				達成率	-	-	-	-
成果指標	食べのこし0（ゼロ）応援店登録店舗	既存登録店舗+新規登録店舗-閉店店舗	件	計画	605	795	922	1,007
				実績	815	942	930	-
				達成率	134.7%	118.5%	100.9%	-
	分類 社会成果（課題）指標			計画	-	-	-	-
	分類			実績	-	-	-	-
				達成率	-	-	-	-

事業費	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	千円	予算額	110,635	109,618	87,252	91,917	96,541	110,511
		実績額	100,038	98,230	79,271	80,977	83,484	-
人件費	常勤職員分 (再任用含)	予算額	40,975	49,352	44,454	94,155	86,320	96,854
		実績額	43,705	54,728	95,654	94,801	94,284	-
		執行率	106.7%	110.9%	215.2%	100.7%	109.2%	-
上記以外の職員	千円	予算額	4,004	5,623	7,901	7,724	11,802	9,750
		実績額	5,986	5,880	7,908	7,995	14,393	-
		執行率	149.5%	104.6%	100.1%	103.5%	122.0%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	155,614	164,593	139,607	193,796	194,663	217,115
		実績額	149,729	158,838	182,833	183,773	192,161	-
		執行率	96.2%	96.5%	131.0%	94.8%	98.7%	-
財源	受益者負担分 ①	予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
国・都からの 補助金 ②	千円	予算額	2,471	1,320	789	451	0	1,114
		実績額	2,346	660	377	259	1,113	-
		執行率	94.9%	50.0%	47.8%	57.4%	-	-
その他の 補助金等 ③	千円	予算額	0	0	0	0	0	0
		実績額	0	0	0	0	0	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	2,471	1,320	789	451	0	1,114
		実績額	2,346	660	377	259	1,113	-
		執行率	94.9%	50.0%	47.8%	57.4%	-	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	153,143	163,273	138,818	193,345	194,663	216,001
		実績額	147,383	158,178	182,456	183,514	191,048	-
		執行率	96.2%	96.9%	131.4%	94.9%	98.1%	-



特記事項

外部評価委員会の指摘により成果指標を「食べのこし0（ゼロ）応援店登録件数」に変更しました。
また、令和5年度予算執行率が90%を下回った主な理由は、集団回収の資源回収量減により、報奨金支払額が当初の予定より下回ったためです。

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	「ごみと資源の分け方・出し方 収集カレンダー」の発行	410,000	部	15,422
	集団回収団体報奨金の支払	422	団体	23,077
	小型家電の選別・分解等業務委託			1,498
	その他（ 廃食用油資源化の委託料、食品ロス削減委託料ほか）			43,487
取組成果	<p>全戸配布している「ごみと資源の分け方・出し方」により、資源の分別方法をわかりやすく周知することで、ごみの分別が進み、ごみの減量と資源化につながりました。また、食品ロス削減の取組では、清掃情報誌や区ホームページでの周知を継続的に行つた結果、フードドライブに提供された食品が10,641個となり、さらに「食べ残しの持ち帰りを啓発する「mottECO（モッテコ）普及推進モデル事業」を127店舗で実施するなどの取組により、合計で5.1t以上の食品ロス削減につながりました。</p>			

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	<p>毎年全戸配布している「ごみと資源の分け方・出し方 収集カレンダー」を活用し、ごみと資源の発生抑制や、適正分別、資源化の推進を周知・啓発しています。プラスチック使用製品廃棄物の新たな分別回収の着実な実施に向け、分別の重要性を周知する手段の一つとして、環境情報誌「ごみハッケン」では「プラスチックを知ろう！」を二つに記事を連載するなどして、より理解が深まるように努めました。また、不要な買い物をしないなど、区民一人ひとりができる取組が浸透し、フードドライブの受付量は減少しています。なお、ごみ収集量が年々減少傾向となっていますが、引き続き経年変化を検証していく必要があります。</p> <p>「食べ残し0（ゼロ）応援店」は930店舗に達し、「アートシェアリングサービス「TABETE」への登録は94店舗となり、各事業の登録店舗は着実に増加しています。また、食品ロスの削減効果を具体的に検証していくため、「食べ残し0（ゼロ）応援店」のうち127店舗で「mottECO普及推進モデル事業」を実施した結果、削減量が令和5年度より大幅に増加し、約330kgに達しました。今年度もこれらの事業を継続するとともに、認知度をより向上させていきます。さらに、学校法人と連携した「親子クッキング教室」及び農福連携農園・保健所と連携した「食品ロス削減講座」といった、実践的な手法を用いた啓発活動にも取り組みながら、連携先の拡充について引き続き検討・調整を行っていきます。</p>
現年度の取組成果・予算執行状況（年度末までの見込み含む）	<p>毎年度、全戸配布を行っている「ごみと資源の分け方・出し方 収集カレンダー」にて、ごみ・資源の発生抑制への理解を促しました。</p> <p>食品ロス削減では、mottECO普及コンソーシアム主催のイベントへのブース出展を継続し、区の食品ロス削減に関する取組を来場者に直接PRしました。さらに、食品ロス削減を家庭で身近にできる取組として、事業者・学校法人と連携し、普段捨ててしまいがちな野菜の皮や芯を使うレシピの作成や親子クッキング教室を開催するなど、区民への普及啓発を図っています。</p>
事業の方向性・改善策	<p>令和8年度版「ごみと資源の分け方・出し方 収集カレンダー」では、分別の重要性への理解を促すとともに、イラストや写真を用いて具体的な解説を掲載するなど、区民の行動変容につながる周知に取り組んでいます。また、令和8年4月から区内全域で実施するプラスチック使用製品廃棄物の分別回収や品目の拡充を行っている拠点回収等、区民へ分かりやすい記載方法を検討します。</p> <p>食品ロス削減では、mottECO普及コンソーシアムに今後も参加し、各団体等と連携していくとともに、「食べ残し0（ゼロ）応援店」登録店舗を拡大し、同応援店でmottECO普及推進モデル事業を展開する等の取組を通じて、食品ロス削減という価値観・行動が事業者と区民双方へ深く浸透することを目指していきます。</p>

令和8年度の方針（Action）

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	食品ロス削減の取組としては、食品ロス削減講座の開催や私立学校法人と連携した親子クッキング教室などの実践的な手法を取り入れ、区民に対して行動変容を促していきます。また、今年度に引き続き「食べ残し0（ゼロ）応援店」登録店舗数の増加を図るとともに、同応援店においてmottECO普及推進モデル事業を推進し事業者等の食品ロス削減への意識も高めていきます。また、令和8年4月から区内全域でプラスチック使用製品廃棄物の分別回収を実施します。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	ごみ・し尿の収集・運搬					款 06	項 01	目 03	事業 003	整理番号	426	
現担当課名	ごみ減量対策課					係名	事業計画係		連絡先	3725	昨年度 整理番号	434
上位施策No・施策名	10	快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現					予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成12年度	実行計画事業	分野	03	施策	10	計画事業	02				
令和6年度 担当課名	ごみ減量対策課					事業評価区分	一般					

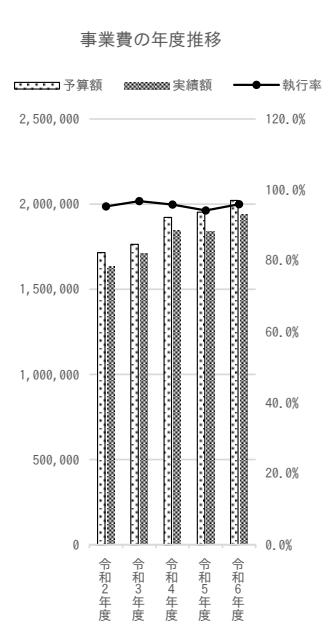
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
○区内一般家庭 ○事業者（排出日量50kg未満）	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○集積所等に分別・排出されたごみを、適正かつ効率的に収集・運搬する。 ○区民が利用しやすいよう、収集サービスの向上を図る。 ○収集した粗大ごみ・不燃ごみを中継車に積み替えて運搬車両台数を減らし、運搬コストを削減する。	○区民等が分別し排出した可燃ごみは杉並清掃工場等へ、不燃ごみは中継所に搬入する。 ○粗大ごみは、受付、収集・運搬を委託により実施する。 ○中継所に搬入された不燃ごみ・粗大ごみは、金属やその他ごみ等に選別した後に中継車に積み替え、適正処理施設へ搬出する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

	指標名	指標説明	単位		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
活動指標	ごみ（可燃、不燃、粗大）収集量		t	計画	97,230	95,667	94,227	93,928
	粗大ごみの収集点数			実績	94,112	90,362	89,161	-
	1t当たりのごみ・し尿収集運搬コスト			達成率	96.8%	94.5%	94.6%	-
成果指標	粗大ごみの収集点数	ごみ・し尿収集運搬コスト（事業費）÷区 収集ごみ量	点	計画	500,000	505,000	510,000	515,000
	1t当たりのごみ・し尿収集運搬コスト			実績	510,029	566,006	527,598	-
	分類 行政サービス成果指標			達成率	102.0%	112.1%	103.5%	-
分類	粗大ごみの収集点数		円	計画	19,767	20,413	21,567	22,050
	1t当たりのごみ・し尿収集運搬コスト			実績	19,575	20,338	21,808	-
	分類			達成率	99.0%	99.6%	101.1%	-

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
事業費	千円	予算額	1,715,257	1,763,917	1,921,964	1,952,809	2,021,749	2,071,203
		実績額	1,635,431	1,708,225	1,842,585	1,839,746	1,940,316	-
		執行率	95.3%	96.8%	95.9%	94.2%	96.0%	-
人件費	千円	予算額	1,114,974	1,021,849	913,389	940,549	918,794	938,921
		実績額	1,162,569	957,794	971,380	953,071	953,168	-
		執行率	104.3%	93.7%	106.3%	101.3%	103.7%	-
上記以外の職員	千円	予算額	0	0	1,838	1,839	1,904	2,322
		実績額	0	0	1,839	1,904	2,322	-
		執行率	-	-	100.1%	103.5%	122.0%	-
(事業費+人件費)	千円	予算額	2,830,231	2,785,766	2,837,191	2,895,197	2,942,447	3,012,446
		実績額	2,798,000	2,666,019	2,815,804	2,794,721	2,895,806	-
		執行率	98.9%	95.7%	99.2%	96.5%	98.4%	-
財源	千円	受益者負担分	428,185	448,795	439,848	444,360	475,194	486,902
		①	398,459	419,921	411,159	423,749	475,992	-
		国・都からの補助金	0	0	0	0	0	-
②	千円	実績額	0	0	0	0	-	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
		③	0	0	0	0	-	-
④	千円	予算額	428,185	448,795	439,848	444,360	475,194	486,902
		実績額	398,459	419,921	411,159	423,749	475,992	-
		執行率	93.1%	93.6%	93.5%	95.4%	100.2%	-
⑤	千円	予算額	0	0	0	0	-	-
		実績額	0	0	0	0	-	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
⑥	千円	予算額	0	0	0	0	-	-
		実績額	0	0	0	0	-	-
		執行率	-	-	-	-	-	-
⑦	千円	予算額	428,185	448,795	439,848	444,360	475,194	486,902
		実績額	398,459	419,921	411,159	423,749	475,992	-
		執行率	93.1%	93.6%	93.5%	95.4%	100.2%	-
⑧	千円	予算額	2,402,046	2,336,971	2,397,343	2,450,837	2,467,253	2,525,544
		実績額	2,399,541	2,246,098	2,404,645	2,370,972	2,419,814	-
		執行率	99.9%	96.1%	100.3%	96.7%	98.1%	-



特記事項

主な取組	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
	収集・運搬車両借上（可燃・不燃）			1,091,451
	粗大ごみの収集・運搬委託			340,189
	粗大ごみの中継車両借上			108,393
	粗大ごみ・不燃ごみ中継業務委託			166,176
	その他（賃借料・委託料・消耗品購入ほか）)	234,107

取組成果	可燃ごみ量 平成12年度 108,401t ⇒ 令和6年度 83,449t 対平成12年度比 約23%減 不燃ごみ量 平成12年度 25,288t ⇒ 令和6年度 2,212t 対平成12年度比 約91%減 粗大ごみ量 平成12年度 4,919t ⇒ 令和6年度 3,202t 対平成12年度比 約35%減 総 計 平成12年度 138,608t ⇒ 令和6年度 88,863t 対平成12年度比 約36%減
------	---

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	可燃ごみ・不燃ごみ・粗大ごみの量は、年々減少傾向にあります。区におけるごみ削減の取組の推進のほか社会情勢の変化が生活様式や生活習慣、ごみ量に影響することから、引き続き、ごみに関する種別・量の変化を検証する必要があります。 また、令和6年度の取組として、複数のリユースショップから買取価格を比較し、売却できるリユースプラットフォームを運営する事業者と令和6年12月に協定を締結し、更なるごみの減量と資源化を推進しています。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	令和6年度の可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみの合計は89,161tで、前年度と比較して▲1,201t、1.3%の減少でした。また、令和6年度の区民一人1日あたりのごみ量は、前年度比▲9g、423gとなり、一般廃棄物処理基本計画で定めている目標値を上回るペースで減少しており、令和7年度も同様に推移するものと想定しています。
事業の方向性・改善策	可燃・不燃・粗大ごみの収集量は、年々減少傾向にあります。一層のごみ排出削減に向けて、ごみの発生抑制に重点を置いたごみの減量や適性な排出に向けた周知・啓発を図っていきます。また、近隣関係を起因とした集積所の分散化や狭小路地区域へのきめ細やかな収集サービスなどにより、集積所が増加しています。このことにより、収集業務に支障が生じないよう、より効率的な収集・運搬体制を構築します。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	人件費の高騰等によるコスト増を抑えるため、的確なごみ量推計に加え、集積所数の増加を反映させた効率的な収集体制を整備していきます。また、杉並清掃事務所の事業にて、DX化による効率化に着手し、収集作業に要する地図や日報などの電子化や収集現場と清掃事務所間の情報共有、清掃車同士の連携を可能とする収集支援システムの導入に向けた検討を進めています。 このほか、3Rのうち優先度の高い2R（リデュース・リユース）の取組をより一層進め、ごみ・資源の排出抑制に努めます。
II. 事業の改善の方向性	現状維持
II. 事業の改善の方向性の理由	

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	資源の回収					款 06	項 01	目 03	事業 004	整理番号	427	
現担当課名	ごみ減量対策課					係名	事業計画係		連絡先	3725	昨年度 整理番号	435
上位施策No・施策名	10	快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現					予算事業区分	既定事業				
事業開始	平成11年度	実行計画事業	分野	03	施策	10	計画事業	02	主要事業（区政経営報告書掲載事業）			
令和6年度 担当課名	ごみ減量対策課					事業評価区分	一般					

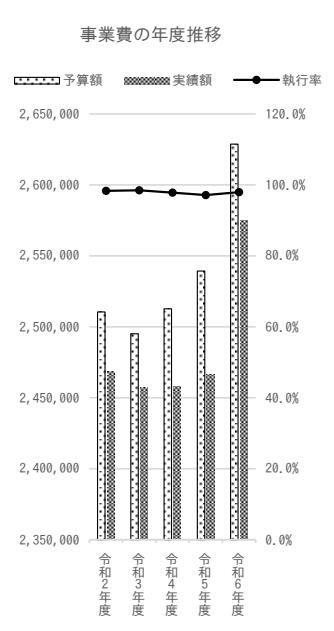
令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等
資源の排出者	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）
○再商品化が可能な古紙、びん、かん、ペットボトル、プラスチック製容器包装を分別収集することにより、ごみの減量と貴重な資源の回収を推進する。	○ごみ・資源の集積所に排出された資源（古紙・びん・かん・ペットボトル・プラスチック製容器包装）を回収し、資源化中間処理施設に搬入する。資源化中間処理施設で選別・圧縮・梱包等した後、再商品化工場に引き渡し、再商品化する。 ○資源の持ち去り対策として、早朝回収やパトロールを実施する。

指標、総事業費 (P l a n · D o)

指標名		指標説明		単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
活動指標	資源回収量（行政回収分）			t	計画	39,714	39,075	38,487	38,364
					実績	30,535	28,982	28,305	-
					達成率	76.9%	74.2%	73.5%	-
					計画	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
					達成率	-	-	-	-
成果指標	資源回収率（資源回収量に小型家電・金属の回収量は含まない）		資源回収量（行政回収分）÷【区收集ごみ量+資源回収量（行政回収分）】	%	計画	29	29	29	29
					実績	24.5	24.3	24.2	-
					達成率	84.5%	83.8%	83.4%	-
	分類 行政サービス成果指標				計画	-	-	-	-
					実績	-	-	-	-
	分類				達成率	-	-	-	-

		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
事業費	千円	予算額	2,510,502	2,495,114	2,512,702	2,539,306	2,628,754	2,710,970
		実績額	2,468,533	2,457,304	2,458,137	2,466,599	2,575,257	-
		執行率	98.3%	98.5%	97.8%	97.1%	98.0%	-
人件費	千円	予算額	35,308	34,437	34,195	79,932	89,098	80,940
		実績額	35,713	35,458	88,750	80,435	93,082	-
		執行率	101.1%	103.0%	259.5%	100.6%	104.5%	-
上記以外の職員	千円	予算額	1,540	0	1,838	1,839	1,904	2,322
		実績額	1,814	0	1,839	1,904	2,322	-
		執行率	117.8%	-	100.1%	103.5%	122.0%	-
総事業費 (事業費+人件費)	千円	予算額	2,547,350	2,529,551	2,548,735	2,621,077	2,719,756	2,794,232
		実績額	2,506,060	2,492,762	2,548,726	2,548,938	2,670,661	-
		執行率	98.4%	98.5%	100.0%	97.2%	98.2%	-
財源	千円	受益者負担分 ①	0	0	0	0	0	-
		国・都からの 補助金 ②	0	0	0	0	0	-
		その他の 補助金等 ③	46,000	45,000	35,198	43,000	44,000	43,000
特定財源 (①+②+③)	千円	予算額	38,151	47,928	33,065	42,061	41,211	-
		実績額	38,151	47,928	33,065	42,061	41,211	-
		執行率	82.9%	106.5%	93.9%	97.8%	93.7%	-
差引： 一般財源 (総事業費-特定財源)	千円	予算額	2,501,350	2,484,551	2,513,537	2,578,077	2,675,756	2,751,232
		実績額	2,467,909	2,444,834	2,515,661	2,506,877	2,629,450	-
		執行率	98.7%	98.4%	100.1%	97.2%	98.3%	-



特記事項

	内 容	規模	単位	事業費 (千円)
主な取組	古紙・びん・缶の回収業務委託			930,032
	ペットボトルの回収・中継・搬送業務委託			397,526
	プラスチック製容器包装回収業務委託			601,329
	資源化中間処理委託			632,656
	その他（ 委託料・消耗品購入ほか)			13,714
取組成果	古紙、びん、かん、ペットボトル、プラスチック製容器包装については、回収し、資源化中間処理施設での選別、圧縮等の工程を経た後、再商品化工場において資源化を図りました。また、ペットボトルの更なる資源循環を図るために、ケミカルリサイクルによるボトルtoボトルが可能な事業者と引き続き契約し、繰り返しペットボトルとして循環する取組を進めました。このほか、令和6年度は杉並清掃工場の環境フェアでパネル展示と、全世代に向けたリサイクルの技術や仕組みを遊びながら学べるボードゲーム「リサイコロ」の実施を通して、資源化の取組を周知しました。なお、プラスチック使用製品廃棄物の分別回収については、令和6年10月から区内の一部地域でモデル実験を開始するとともに、令和8年度からの区内全域での実施に向けた準備を進めました。			

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	ライフスタイルの変容や企業における環境配慮の取組などもあり、古紙・びん・かんは減少傾向、プラスチック製容器包装は微減、ペットボトルは増加傾向にあります。 令和6年10月から実施しているプラスチック使用製品廃棄物の分別回収モデル地域において、大きな混乱は見られず、令和8年4月から区内全域での分別回収を実施します。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	昨年度に引き続き、ペットボトルのケミカルリサイクルによるボトルtoボトルを実施し、資源循環リサイクルに取り組んでいます。また、令和8年4月からプラスチック使用製品廃棄物の分別回収を区内全域で実施するため、自治会への説明やHPでの周知、チラシの全戸配布等を行います。
事業の方向性・改善策	昨年度に引き続き、ペーパーレス化が進むとともに、ペットボトルの需要拡大によりびん・かんの生産量が減少し、資源全体の回収量が減少傾向にあります。反面、衛生面や利便性の観点から、ペットボトルやプラスチック製容器包装の排出量は増加または横ばい傾向にあります。資源を含めた廃棄物の削減に向け、家庭における発生抑制に向けた取組を強化するとともに、プラスチック資源循環促進法の施行に伴い、令和8年4月からプラスチック使用製品廃棄物分別回収の区内全域実施に向け準備を進めていきます。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	拡充
I. 事業コストの方向性の理由	引き続き、ごみの減量と資源化を推進するため、分別を徹底するとともに、重点的にワンウェイプラスチック及び食品ロス削減等に取り組みます。また、プラスチック資源循環促進法の施行に伴い、令和8年4月からプラスチック使用製品廃棄物の分別回収を区内全域で実施します。
II. 事業の改善の方向性	対象の見直し
II. 事業の改善の方向性の理由	プラスチック資源循環促進法の施行に伴い、現在のプラスチック容器包装だけではなく、令和8年4月からプラスチック使用製品廃棄物の分別回収を区内全域で実施するため。

令和7年度 杉並区事務事業評価シート

事務事業名称	ごみ・資源の排出の適正管理					款 06	項 01	目 03	事業 005	整理番号	428
現担当課名	杉並清掃事務所					係名 管理係	連絡先 電話番号	3392-7281	昨年度 整理番号	436	
上位施策No・施策名	10	快適で暮らしやすいまちと循環型社会の実現					予算事業区分	既定事業			
事業開始	平成12年度	実行計画事業	分野 03	施策 10	計画事業 04						
令和6年度 担当課名	杉並清掃事務所					事業評価区分	一般				

令和6年度 事務事業の概要 (P l a n)

対象	根拠法令等 廃棄物の処理及び清掃に関する法律 杉並区廃棄物の処理及び再利用に関する条例
事業の目的・目標（対象をどのような状態にしたいのか）	事業内容（事務事業の内容、やり方、手段）

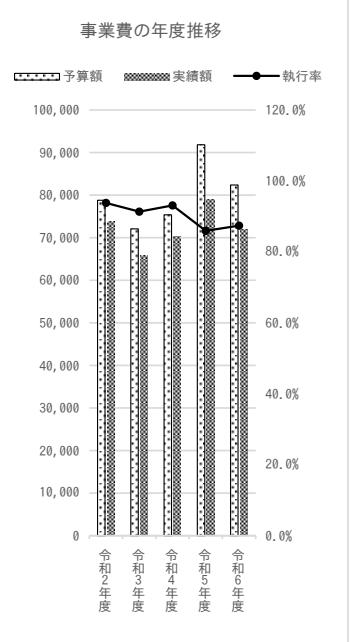
○ごみの分別の徹底を働きかけ、資源化を促進するとともにカラス等による集積所の被害を防止するために区民等が取り組みやすく、より低コストで効果的な方策で、集積所の衛生状態やまちの美観を保持する。
○区の収集を利用する事業主に対し、適正なごみ処理券の貼付を働きかけることで、負担の公平性を確保する。

○事業活動に伴って出たごみ・資源を区の収集に出す事業者に対し、適正な事業系有料ごみ処理券を貼付するよう調査・指導する。
○ごみ排出の適正化指導、環境学習の推進、集積所のカラス等による被害の防止対策、大規模建築物の所有者への排出指導などを行う。

指標・総事業費 (P l a n · D o)

活動指標	指標名	指標説明	単位	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	直接又は文書による排出指導件数		件	計画 実績 達成率	1,200 221 18.4%	1,200 715 59.6%	1,200 420 35.0%
成果指標	折り畳み式防鳥ボックスの配布数		個	計画 実績 達成率	1,400 816 58.3%	1,400 545 47.6%	1,400 - 38.9%
	事業系有料ごみ処理券収入済額		千円	計画 実績 達成率	172,071 167,989 97.6%	189,804 177,385 93.5%	199,667 183,774 92.0%
分類	行政サービス成果指標			計画 実績 達成率	- - -	- - -	- - -
	分類						

	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	事業費 千円	予算額 実績額 執行率	78,793 73,907 93.8%	72,073 65,830 91.3%	75,371 70,167 93.1%	91,824 78,906 85.9%	82,376 71,993 87.4%
人件費	常勤職員分(再任用含)	予算額 実績額 執行率	433,563 451,273 104.1%	407,494 413,818 101.6%	384,228 247,846 64.5%	243,185 246,817 101.5%	255,714 264,565 103.5%
		予算額 実績額 執行率	1,848 1,887 102.1%	4,898 4,594 93.8%	2,756 2,759 100.1%	2,942 3,046 103.5%	3,046 3,714 121.9%
総事業費(事業費+人件費)	上記以外の職員	予算額 実績額 執行率	514,204 527,067 102.5%	484,465 484,242 100.0%	462,355 320,772 69.4%	337,951 328,769 97.3%	341,136 340,272 99.7%
		予算額 実績額 執行率	58,321 55,037 94.4%	35,592 33,524 94.2%	35,198 33,065 93.9%	43,846 42,250 96.4%	12,848 12,645 98.4%
財源	受益者負担分①	予算額 実績額 執行率	246 163 66.3%	200 242 121.0%	214 199 93.0%	217 194 89.4%	224 104 46.4%
		予算額 実績額 執行率	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -	0 0 -
	国・都からの補助金②	予算額 実績額 執行率	58,567 55,200 94.3%	35,792 33,766 94.3%	35,412 33,264 93.9%	44,063 42,444 96.3%	13,072 12,749 97.5%
		予算額 実績額 執行率	455,637 471,867 103.6%	448,673 450,476 100.4%	426,943 287,508 67.3%	293,888 286,325 97.4%	328,064 327,523 99.8%
	その他の補助金等③	予算額 実績額 執行率	455,637 471,867 103.6%	448,673 450,476 100.4%	426,943 287,508 67.3%	293,888 286,325 97.4%	328,064 327,523 99.8%
		予算額 実績額 執行率	455,637 471,867 103.6%	448,673 450,476 100.4%	426,943 287,508 67.3%	293,888 286,325 97.4%	328,064 327,523 99.8%
	特定財源(①+②+③)	予算額 実績額 執行率	455,637 471,867 103.6%	448,673 450,476 100.4%	426,943 287,508 67.3%	293,888 286,325 97.4%	328,064 327,523 99.8%
		予算額 実績額 執行率	455,637 471,867 103.6%	448,673 450,476 100.4%	426,943 287,508 67.3%	293,888 286,325 97.4%	328,064 327,523 99.8%
	差引：一般財源(総事業費-特定財源)	予算額 実績額 執行率	455,637 471,867 103.6%	448,673 450,476 100.4%	426,943 287,508 67.3%	293,888 286,325 97.4%	328,064 327,523 99.8%
		予算額 実績額 執行率	455,637 471,867 103.6%	448,673 450,476 100.4%	426,943 287,508 67.3%	293,888 286,325 97.4%	328,064 327,523 99.8%



特記事項

予算執行率90%未満の理由については、主に「カラス対策経費や適正排出普及啓発用消耗品などの需用費残」及び「ごみ出しアプリ事務処理委託費残」によるものです。

主な取組	内 容	規 模	単 位	事 業 費 (千円)
	有料ごみ処理券印刷実績	1,885,100	枚	11,835
	動物死体処理委託	411	頭	1,266
	折り畳み式防鳥用ボックス545基、カラスネット1,051枚の配布			34,100
	ごみ処理券徴収委託	282	店	18,987
	その他（ 大規模建築物指導、ふれあい指導用消耗品ほか）			5,805
取組成果	カラスネット及び折り畳み防鳥用ボックスを希望する集積所利用者へ配布したことにより、ごみの散乱防止や集積所の衛生管理の保持とともに、まちの美観保持にもつながる取り組みとなりました。また、ごみの減量化や分別、資源化などの理解を深めるため、環境学習を46回実施しました。特に小・中学校においては、学習内容を見直し、楽しむだけで留まらないよう、子供たちだけで話し合い、グループ発表や発言する機会を設けより理解を深めました。更に、リサイクルに親しみ、興味を持つきっかけとなるよう、清掃職員が考案したキャラクター「りさいくるず」を作成し、ごみ・資源の適切な排出について意識の向上を図りました。このほか、有料ごみ処理券未貼付事業者等への排出指導を引き続き実施し、適正な排出について区民等への啓発に努めました。			

課題の分析、方向性・改善策 (Check・Action)

課題の分析	集積所のカラス等によるごみ散乱防止やまちの美観保持には、折り畳み防鳥用ボックスの設置が有効な手段となっています。しかし近年は、生活形態の多様化や地域社会におけるコミュニケーションの希薄化から、集積所の分散化が進み、少數世帯での集積所利用が増える傾向にあることや、ボックスの設置を希望する世帯に対しての配布が概ね完了したことから、折り畳み防鳥用ボックスの新たな配布数は、減少しています。単身高齢者を対象とした「ふれあい収集」は、安否確認など福祉的な側面からも評価されており、高齢者人口の増加等によりニーズが高くなっています。今後は、的確なサービス提供などのため、対象者に対し定期的な現状確認を行う等、適正な運用が求められます。また、ごみの収集に関して、業務の効率化や職員の負担軽減、区民サービスの向上を図るために、清掃事業のデジタル化の取組が不可欠であることから、清掃事業の運営支援システムや粗大ごみの電子決済サービスの導入など、他自治体におけるデジタル化の情報収集を行なながら進めていく必要があります。
現年度の取組成果・予算執行状況(年度末までの見込み含む)	ごみの減量化及び適正排出の推進のため、不適切な排出者に対する分別指導や有料ごみ処理券を適正に貼付するための調査・指導を引き続き行っています。特に、不適切排出が多い傾向にあるJR4駅商店街等にある集積所を中心に、実施エリアを分割し、計画的に進めています。また、ごみ集積所の衛生状況やまちの美観保持のため、カラスネットや折り畳み式防鳥用ボックスを配布していますが、ボックスの新規申込は減少傾向にあり、破損等による交換申込数が中心となっています。
事業の方向性・改善策	高齢者人口の増加を背景にふれあい収集や粗大ごみの運び出し収集について、そのニーズが高まっていくと考えられます。これらのニーズに的確に対応するため、ふれあい収集対象者の定期的な状況確認等を行なうとともに、訪問看護サービス事業者や介護施設職員からの申込に対し、電子申請システムの導入を開始し業務の効率化を図ります。更に、DX化やデジタル技術の活用及び検証しながら、社会環境の変化に伴う集積所の分散化による集積所数の増加、ごみ・資源の排出マナーの低下などの諸問題を解決するため、事業内容等の見直しに取り組んでいきます。

令和8年度の方針 (Action)

I. 事業コストの方向性	現状維持
I. 事業コストの方向性の理由	カラスネットや防鳥用ボックスの配布については、概ね希望者には行き渡っていることから、段階的に縮小していきます。一方、7年10月から導入している清掃事業の運営支援システムについては、効果検証を進め、業務の効率化と住民サービスの向上を目指します。
II. 事業の改善の方向性	手段・方法の見直し（改善）
II. 事業の改善の方向性の理由	業務の効率化と併せ、ニーズが高まる環境教育、適正排出のための調査・指導、排出が困難な高齢者に対する業務を継続していくための見直しを検討します。